

来てだあこ  
見てだあこ  
暮らしてだあこ

「ただいま。」

名張で生まれて、名張で育ち、名張を出た。  
けれど、やっぱり、  
山や川、まちが恋しくなって帰って来た。  
みんな、ただいま。

名張  
三重  
Nabari City

だあこ 検索



第6回大会「日本地域包括ケア学会」  
令和7年1月12日

演題発表に関し開示すべきCOIなし

# 全世代がつながるまちづくり ～地域共生社会をめざした名張市の実践～



名張市福祉子ども部地域包括支援センター 柴垣維乃

# 名張市の概況

三重県の西部、近畿・中部両圏の接点に位置し、西・南側は奈良県に接している  
山地の多い地勢は新鮮な空気や清らかな水とともに、風光明媚な自然に恵まれている  
伊勢参りの宿場町として形造られ、江戸時代には藤堂氏の城下町として発展

昭和29年3月31日 市制施行

昭和38年以降 大規模な宅地開発 大阪方面への通勤圏として急速に発展

市制発足当時3万人人口 ⇒昭和56年度に8万5千人台まで増加

現在、人口7万4千人 人口減少 急速な高齢化

## 名張市の位置・面積

面積 129.77km<sup>2</sup>  
海拔 225.93m

## 名張市の人口（令和6年4月1日現在）

総数 74,780人  
男 36,018人  
女 38,762人  
世帯数 34,915世帯  
高齢化率 35.1%



# ①地域づくり組織（名張流まちづくり）

## 2003年度名張市総合計画「福祉の理想郷プラン」

老いも若きも、男性も女性も、障害や難病の有る無しにかかわらず、  
全ての市民の社会参加がかなう互助共生のまち ⇒地域共生社会の構築をめざす

「公共」は、地域づくり組織等と行政が協働で担うことによって、  
「住民が自ら考え、自ら行うまちづくり（ソーシャルキャピタル）」が醸成

## 特徴的な「地域づくり組織」の取組（15地域で展開）

### ■ 地域の活性化

地域の活性化を目的としたお祭りなどのイベント実施



### ■ 防犯パトロール

地域の防犯を目的とした青色回転灯車によるパトロール



### ■ 配食サービス

地域住民が配食ボランティアとして、定期的にお弁当を配達し、地域で見守る。



### ■ 住民主体の生活支援

地域住民同士がその生活を有償で支え合う仕組み。向こう三軒両隣の関係を再構築。

（隠おたがいさん）



### ■ 子育て広場

地域で子育てを応援する子育て広場の開設（おじゃまる広場）



### ■ 教育との連携

地域住民が教育の現場に学習支援で参加。地域愛をもった子ども達が育ちつつある。

（ほめほめ隊）



# ①地域づくり組織（名張流まちづくり）

## 地域包括ケアシステム、地域共生社会を象徴する地域づくり組織の取組

### ■ 生活支援（有償ボランティア組織の活動の様子）



家具の移動



障子貼り



簡単な大工仕事



お暮参り



庭木の剪定



洗濯



掃除の手伝い



ゴミの分別



★地域包括ケア研究会 植木鉢の図より

1. 住民主体の生活支援サービス（11地域で実施）  
最低限の実費と対価を払い地域間で生活を支えあっている。
2. 子ども・高齢者・障害者を含めた全ての人々が暮らしと生きがいを  
共につくり、高め合える地域社会を目指す取組。
3. 有償ボランティアの会員であるサポーター、支援会員も、  
主に地域のご高齢の方々。支援を行うことにより社会貢献を実感し、  
高齢者の生きがい、介護予防につながる。
4. 地域の高齢者が地域の高齢者を支えるしくみは、地域の中でのつながり・  
互助（地域力）を高める。

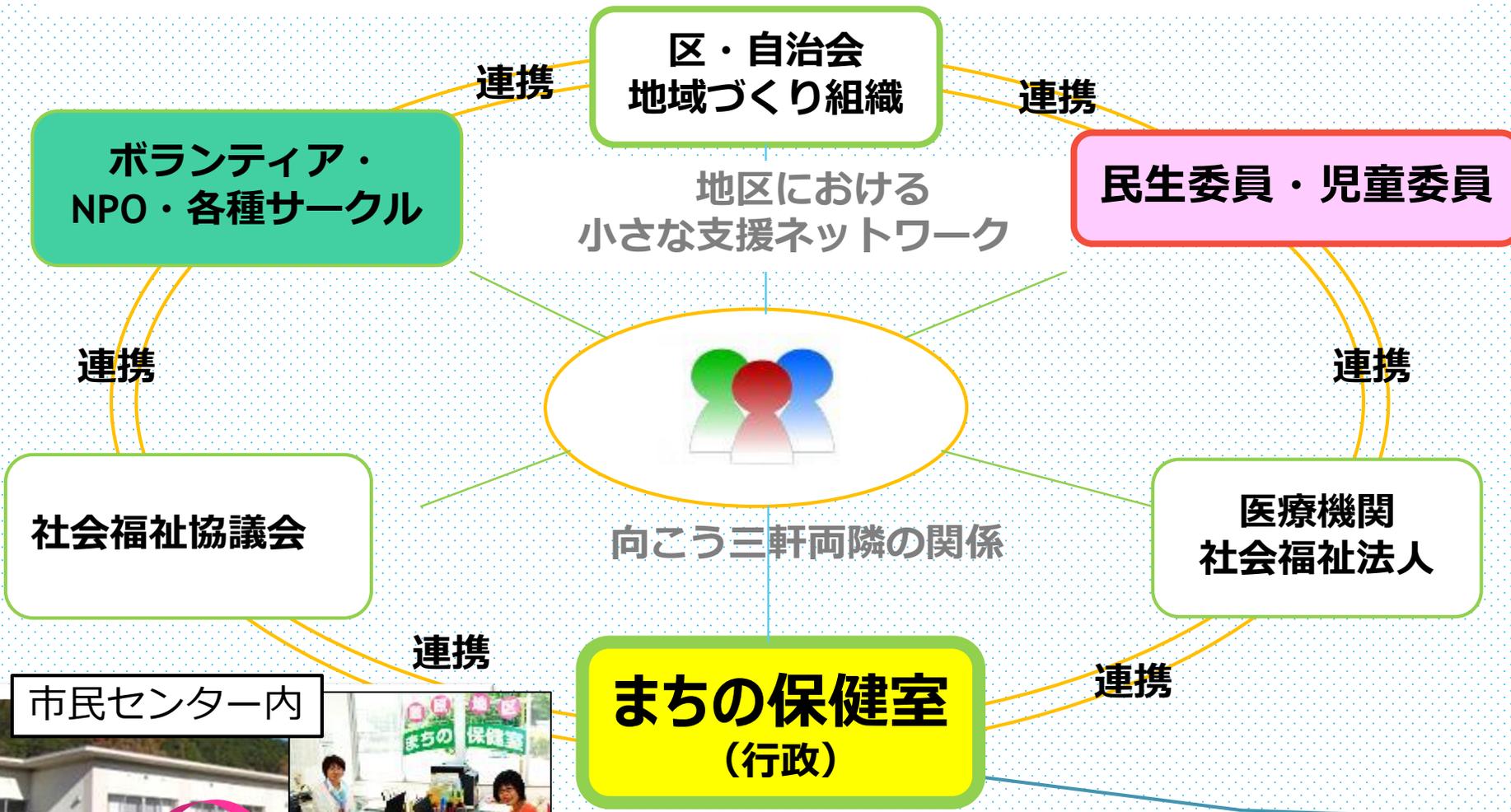
# ② まちの保健室

2008年度まちの保健室 相談実績 10,833件

2023年度まちの保健室 相談実績 35,164件



地域の資源を結ぶ 地域の大きな保健福祉ネットワーク



- ### まちの保健室について
- 設置根拠（平成16年度）『第一次地域福祉計画』
  - 地域づくり組織と一体的に地域福祉を推進するのが目的
  - 市内15か所、おおむね小学校区単位の地域づくり組織事務所（市民センター）に併設。
  - 社会福祉士や看護師、介護福祉士など有資格者各1～3名を配置

- ### 活動内容
- (1) 健康・福祉の総合相談  
電話・来所・訪問相談  
介護保険認定調査、申請代行も
  - (2) 健康づくり・介護予防  
健康相談、健康づくり・  
介護予防の啓発
  - (3) 見守り・  
支援ネットワークづくり  
サロンの立ち上げ、運営支援

- ◆ 「人の力」を生かす参加と共助のしくみづくり
- ◆ 「地域の力」を高める名張方式の幸せ空間づくり



## ② まちの保健室

### 特徴的な5つの機能

#### ① 安心して相談できる地域の情報拠点

→ 課題を抱え込ませない

#### ② パイプ役としての機能

→ 地域の連携の核

#### ③ 長期的なかかわり

→ 制度の狭間

中心的な関わりと見守り・伴走的な支援

#### ④ 地域とのかかわり

→ 地域と一緒に支援する  
地域そのものへの支援

#### ⑤ 専門職らしくない

→ 敷居は低い、されど専門職 絶妙な距離感





# 多部署・多職種・多目的

# インフォーマルな場でのつながり 広がり



お買い物ついでに  
お茶をしながら交流

買い物が不便になった地域に  
住民自らが移動販売業者を誘致



まちの保健室等の見守り支援を依頼



地域担当保健師と地域包括支援センターが  
カフェを同時開催 ☕

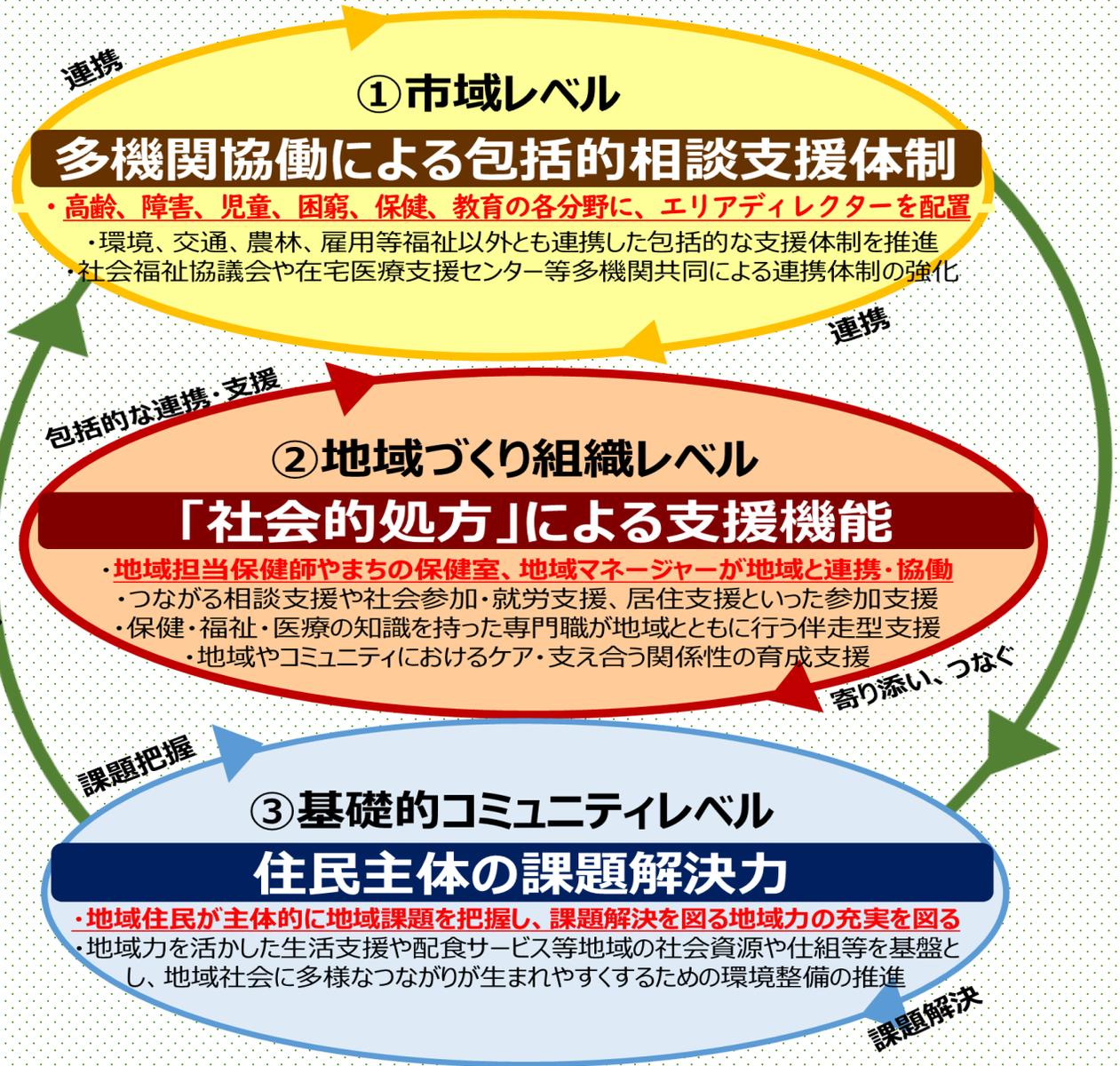
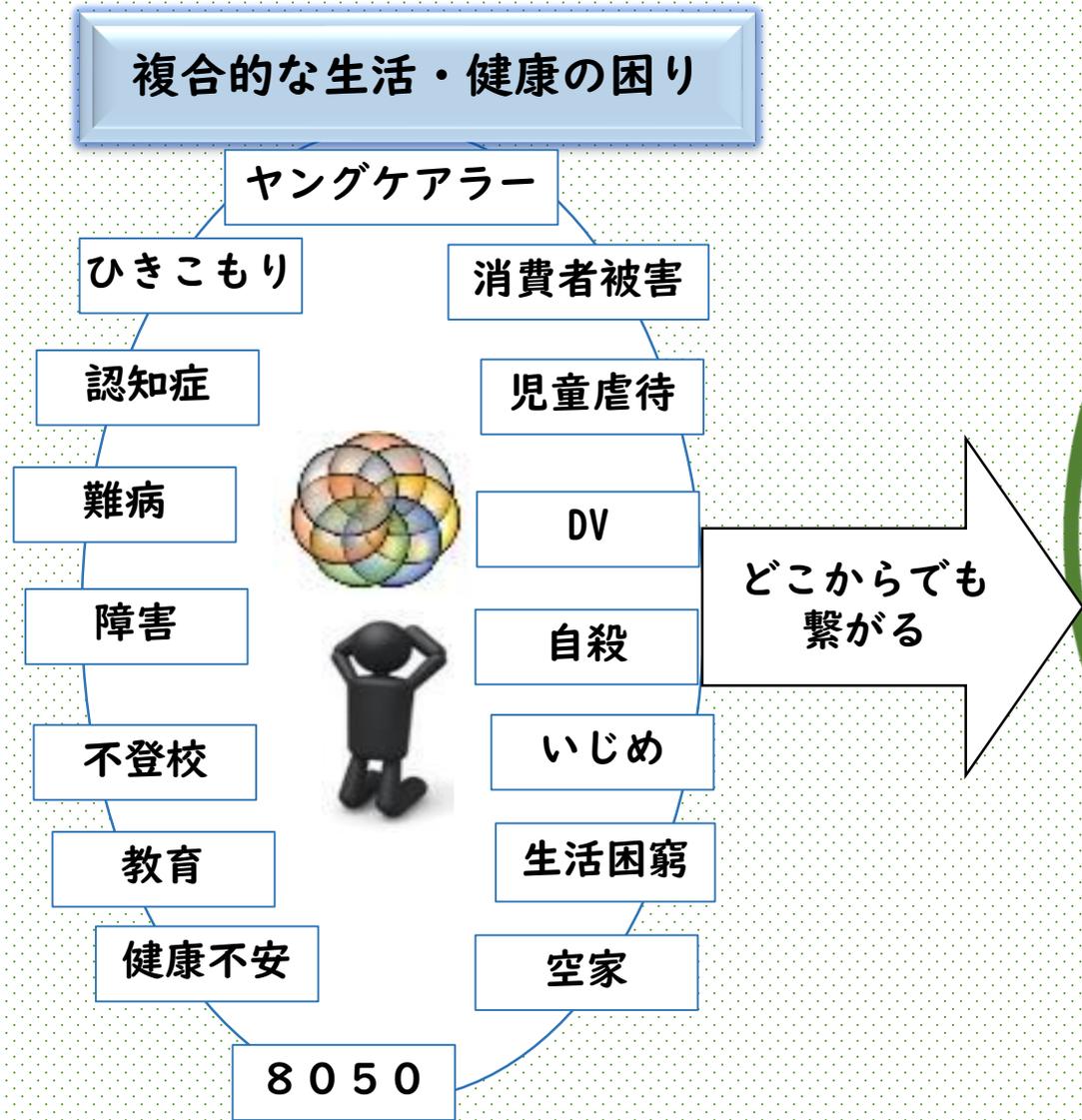


移動販売「とくし丸」さん

地域住民×移動販売業者×地域担当保健師×地域包括支援センター×  
まちの保健室

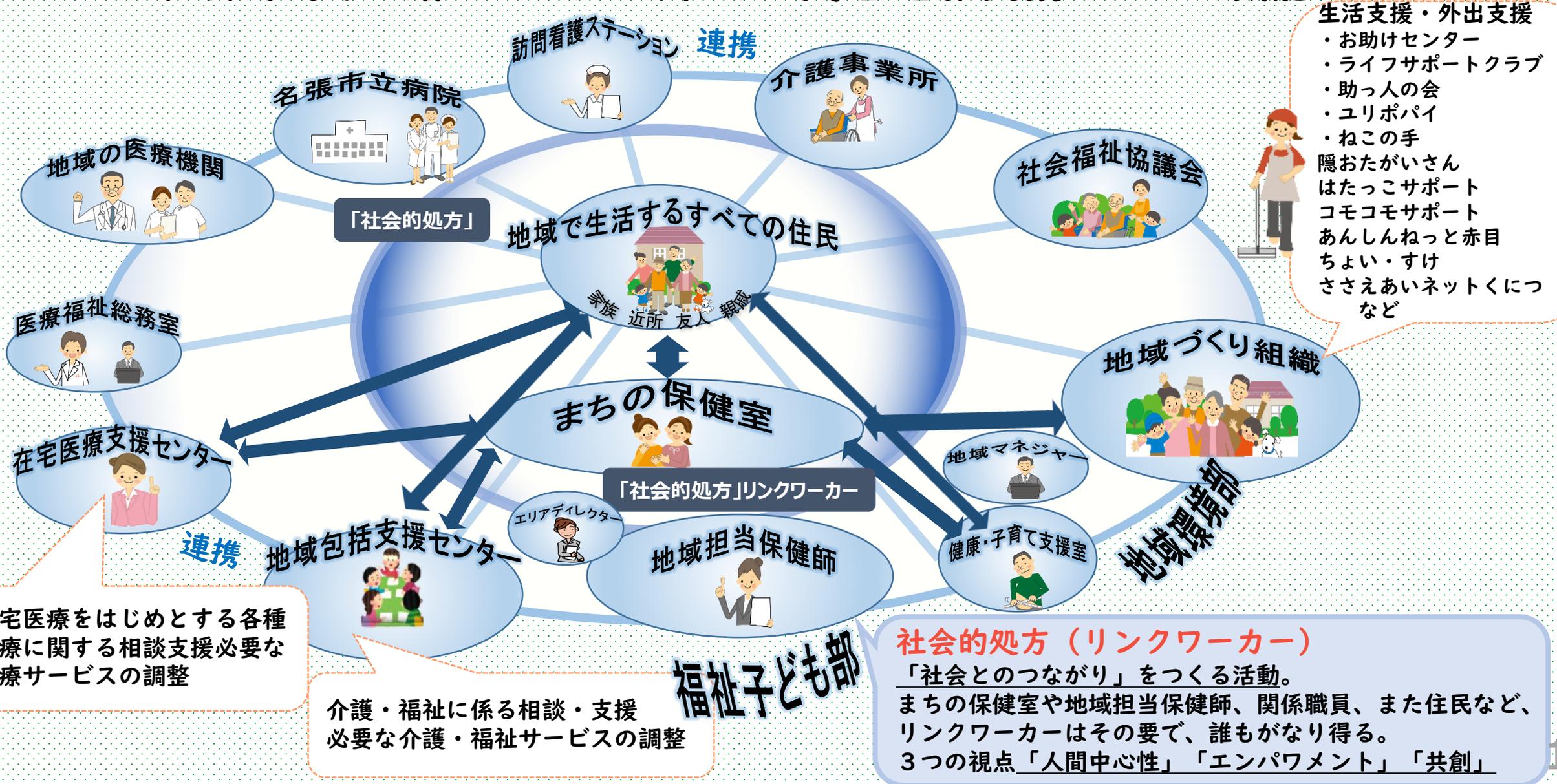
# 名張市地域福祉教育総合支援ネットワーク (地域づくりとまちの保健室との連動)

複合的な困りを抱える方に対して、どのレベルからでも必要な支援につなげ、重層的な連携・相談支援を循環させることをめざす全世代を対象にした包括支援ネットワーク



# ③ 名張版地域包括ケアシステム(ネットワーク) = まちづくり

～ 社会的処方も踏まえた全世代・全対象型包括支援センター機能 ～



- 生活支援・外出支援
- ・お助けセンター
  - ・ライフサポートクラブ
  - ・助っ人の会
  - ・ユリポパイ
  - ・ねこの手
- 隠おたがいさん  
はたっこサポート  
コモコモサポート  
あんしんねっと赤目  
ちよい・すけ  
ささえあいネットくにつ  
など

在宅医療をはじめとする各種医療に関する相談支援必要な医療サービスの調整

介護・福祉に係る相談・支援  
必要な介護・福祉サービスの調整

**社会的処方 (リンクワーカー)**  
 「社会とのつながり」をつくる活動。  
 まちの保健室や地域担当保健師、関係職員、また住民など、  
 リンクワーカーはその要で、誰もがなり得る。  
 3つの視点「人間中心性」「エンパワメント」「共創」

# 医療・介護・福祉・地域の連携を強める 在宅医療介護連携の取組

## 多職種連携研修 → 「かお」のみえる関係づくりから進化して、 「はら」がみえ、補いあえる関係づくり

医療、介護福祉関係者、民生委員・児童委員など

(医師、歯科医師、薬剤師、医療機関職員、  
保健師、看護師、介護支援専門員、障害福祉事業所職員  
警察署・消防署職員、行政機関職員など)

「コーチング」でコミュニケーションアップ!  
つながりづくり



《多職種連携研修》  
生まれ育った名張、住み慣れた  
名張で暮らし続けられるように



○対象：全世代の住民（名張市在住）

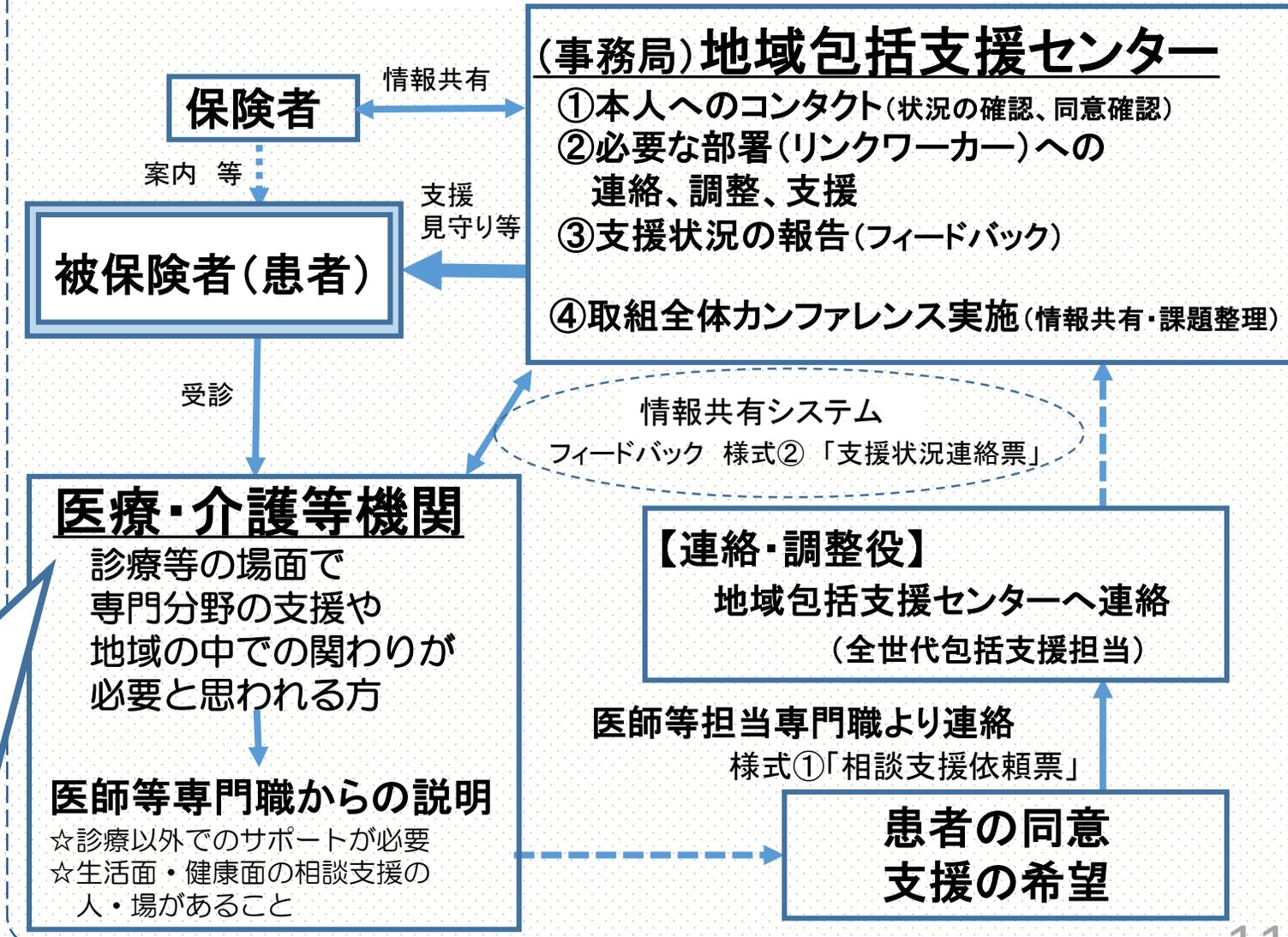
○令和3～5年度：48件の相談依頼

内科、産婦人科、耳鼻科、眼科、皮膚科、薬局...  
さまざまな機関からのつながり支援の依頼

【モデル事例】

- 糖尿病治療中だが、生活の場での栄養・保健指導や地域の運動教室へのつながりが必要
- 複数の疾患があり継続治療が必要だが中断している
- 医療費が払えない（薬剤を減らす、検査を控える）
- 身の回りのことができず、不衛生な状態
- 一人暮らしでアルコールに依存している
- 認知症のある高齢者、地域の見守りがあるのか不明
- 高齢世帯で、ひきこもりの家族がおり悩んでいる
- 治療中の親が、子どもの不登校等に悩んでいる
- 親の受診に子どもが付き添い日常のケアもしているなど

重症化予防・支援の流れ



# 名張市の地域包括ケアシステムの土台となる取組

「丸ごと」の相談支援体制

「我が事」の意識づくり

住民自治活動の醸成  
住民主体の活動展開

① 「地域づくり組織」

名張の特徴  
強み

まちづくりとの一体  
身近な総合相談窓口

② 「まちの保健室」



全ての人々が暮らしと生きがいを共に作り、高め合える地域社会 (=地域共生社会) を目指して



～ご清聴ありがとうございました～